

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		子ども発達支援センター さつき園		公表日		令和8年2月27日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・スペースがせまいと感じるグループもある。 ・保育室、プレイルーム足りず保育室は曜日をずらし2グループ使用している現状。 ・広さは十分である。 			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・職員を配置したくても市の予算の都合上雇用する側とされる側で条件が合わず難しい。 ・園外活動等職員の配置数が少ない。足りないと感じる時がある。 ・パート職員の働き方に制限があるため状況によっては不足する。 			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	0	8	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレや手洗い場の設置が大人向けであるため使用しづらい環境。 ・もともと保健センターの建物を使用しておりトイレ、手洗い場など子供向けではない為、改善が必要だと思われる。 ・すべてが大人仕様で、扉も重く、表示なども子どもには高すぎる位置にある。 ・トイレなど保健センターをそのまま使用しているため、子ども専用がないため、牛乳パックなどで足場を作ったり、おまるを置いてトイレトレーニングをさせたりしている。 ・子どもの場として作られた場ではない為、使いにくさはある。 ・トイレが大人用、園庭がない。(駐車場は広いが車の出入りあり、アスファルトで危ない) ・子どもが使いやすいトイレに改善の必要 ・子どもが使いやすいよう踏み台等を作り対応。 			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレがよく詰まり使用できなくなる為不安になる子供も居る。 ・スタッフで掃除、アルコール消毒に努めているが、建物はじゅうたんて清潔を保つのが難しい。 ・保育室以外は全室カーペットがしいてあるので衛生面が気になる。 ・床がカーペットのため衛生的に心配な面もある。 ・絨毯ではトイレトレーニング、おもらしの対応が難しい。 ・床がカーペットの所が多くトイレトレーニング等の場合が課題。 			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	0	7				
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0				
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0	<ul style="list-style-type: none"> ・なかなかできていない現状がある。 			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	1	<ul style="list-style-type: none"> ・中々療育後というのは難しい。(時間的に) 			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7	1				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0				

適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8	1		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0		
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	1	・時間が難しい為、次の日だったり、電話で共有したりしている。 ・支援終了後に出来ない時は、子どもが午睡中や次の日の職員朝礼の前に共通、意見交換している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0		
関係機関や保護者と	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0		
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8	0		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定子ども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				

の 連 携	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)				
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	8			
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	8	0		・幼稚園、保育園から子どもたちが見学(あそび)に来たり、年長になると並行通園先へ訪問したり活動がある。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	8	0			
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0		
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	0		・きょうだい同士の交流する機会はコロナ禍よりなくなっている。 ・保護者同士の交流の場は設けているが、きょうだい同士の交流の場を設けることは現状むずかしい。 ・親の交流の場は設けているが、きょうだい児の交流をもうけるよう今後検討したい。 ・親同士の交流ができる機会を作るよう工夫している。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		・相談者等の申入れがあった場合は、個別の場を設け、担当職員や園長が対応している。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8	0		・HP、SNS等活用はないが、月に1度の予定表や行事ごとにプリントを配布している。 ・日々の様子は連絡帳で保護者と共有している。 ・全体の事は園だよりで毎月対応している。 ・SNS等は利用せず、園だよりや写真等で活動の共有をしている。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	8	1		・少しずつコロナ禍前に戻ってきつつある。 ・必要に応じて案内している。また、見学依頼等も受け入れている。
	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0		・年度初めに緊急時の対応マニュアルを配布、年2回消防立合での避難訓練を実地している。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		

非常時等の対応	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8	0		
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8	0	・現状はないが、必要があれば医師の指示書があるといい。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	0		